

「代表取締役」「取締役」などの会社法上の役職名、「専任の宅地建物取引士」「政令で定める使用人」などの宅建業法の職名を記入する。※兼任する役職はすべて記入。

類 (3)

記入例

(A4)

本人が取引士である場合  
宅建士登録番号の記入

略歴書

(フリガナ) 氏 名	トットリ タロウ 鳥取 太郎		
職 名	代表取締役、専任の宅地建物取引士	登 録 番 号	(鳥取) 00●●●●号
職 歴	期 間	従 事 し た 職 務 内 容	
	自 H23年 4月 1日 至 H25年 3月 1日	株式会社鳥取県庁建設 営業	
	自 H26年 4月 1日 至 H28年 3月 1日	無職	
	自 H28年 4月 1日 至 H30年 6月 30日	株式会社鳥取県庁不動産	
	自 H30年 7月 1日 至 年 月 日	同社 取締役	
	自 R2年 7月 1日 至 年 月 日	同社 代表取締役	
	自 年 月 日 至 年 月 日	現在に至る	
	<div>【記入上の注意点】</div> <div>○学校卒業からの職歴をすべて記入してください。(宅建業以外の職歴も含む)</div> <div>○期間は空白がないように記入してください。(自、至ともに)</div> <div>○他の法人と兼務・兼任されている場合、常勤／非常勤を記載してください。 (上記に関連し、追加で書類を提出いただくことがあります。)</div> <div>○1年以上の空白がある場合は、無職、専業主婦、企業準備等実態に合わせて記入してください。</div> <div>○最後は現在に至るとして記入してください。</div>		

上記のとおり相違ありません。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏 名 鳥取 太郎